



# 「学ぶ土台づくり」便り

第2号



宮城県では、ルルブル同様、社会総がかりで次世代を育てる幼児教育を展開するため、「学ぶ土台づくり」を進めています。

## 「幼児教育」の対象は？



本県の幼児教育を推進する「学ぶ土台づくり」推進計画では、対象を全ての小学校就学前の子ども（乳幼児）としています。また、幼児教育とは、家庭や地域社会、幼稚園や保育所等、子どもが生活する全ての場において行われる教育・保育としています。

どの家庭でも、どの幼稚園でも、どの保育所でも、元気いっぱい夢いっぱい瞳かがやく“みやぎっ子”を目指して、生涯にわたる人間形成の基礎を築く幼児期の教育の充実を進めていきます。

## 学ぶ土台づくりミニ講座 第2弾!!

### 目標2 基本的生活習慣の確立について

基本的生活習慣は、乳幼児期に、日常生活における周囲からの模倣を通して身に付けるものです。ですから、子どもの生活習慣は、すぐそばにいる大人の習慣に大きく影響されます。親がまず意義を理解し、自ら規則正しい生活を送るよう努めることが大切です。

また、生活習慣の中でも、根幹となる食事と睡眠についての規則正しい習慣を身に付けることは、元気で積極性にあふれる子どもを育てるために、欠かせないものです。



基本的生活習慣は、その確立に向けたかかわりを通して、健康の維持だけでなく、**心身のバランスの取り方や良好なコミュニケーション**なども身に付けさせてくれます。

## 目指す子どもの姿

元気いっぱい 夢いっぱい  
瞳かがやく“みやぎっ子”

～遊びや自然・人のかかわりを通して、豊か心をはぐくむ～

- 目標1 親子間の愛着形成の促進
- 目標2 基本的生活習慣の確立
- 目標3 豊かな体験活動による学びの促進
- 目標4 幼児教育の充実のための環境づくり

基本的生活習慣とは、食事・睡眠・排泄・清潔・衣服の着脱といった自分自身の生活に関する5つの項目に係る習慣を指します。



知っていましたか？

## 学ぶ土台づくり普及啓発事業 紹介

### 「学ぶ土台づくり」市町村等支援事業

県では、平成25年度から「学ぶ土台づくり」に取り組む市町村を支援する事業を行っています。平成26年度からはNPO、今年度は学校法人等（私立の幼稚園や保育所の設置者）を対象に加え、さらなる事業の普及を図っています。

今年度は既に、4市町村と2学校法人が決まっていますが、まだ、実施希望の相談を受け付けています。

事業については、教育企画室までお問い合わせください。また教育企画室のホームページにも詳細を掲載しています。

宮城県教育企画室

検索 🔍

### 取組内容例

No	事業メニュー	内容
1	「学ぶ土台づくり」講演会	第2期「学ぶ土台づくり」推進計画に関する内容（親子間の愛着形成・基本的生活習慣・豊かな体験活動）等の講演会
2	保護者向け講座	パンフレット「うちの子の未来学」等を活用した親の学習講座や講話
3	基本的生活習慣に関する研修会	ルルブルに関するパンフレットやDVD、「早寝・早起き・朝ごはん」体操等を活用した講座や研修会
4	体育・運動教室	親子一緒に体操や体力向上等に関する体験型の取組
5	食育体験・教室	食や農業、水産業に関するミニ学習会や料理教室等の取組
6	親子体験活動	宿泊体験活動、困難体験活動、冒険遊び、自然体験活動等の親子一緒にの体験活動
7	異世代・異年齢交流	地域の高齢者と伝承遊びを通じた交流や、児童館等における中高生の保育体験等の交流事業
8	発達障害等研修会	特別な支援を必要とする子どもの早期発見と必要な支援について学ぶための講話や研修会
9	幼・保・小連携交流体験、研修会	幼・保・小の相互理解を深め、小学校への円滑な接続のための交流体験や研修会

## 平成28年度「学ぶ土台づくり」研修会 を開催しました!!

県では、昨年度から、幼稚園（国公立，私立），保育所（公私立），認定こども園，認可外保育施設等の先生方を対象とした「学ぶ土台づくり」研修会を開催しています。

この研修会は、幼児教育の環境づくりの一環として研修の充実を図ることを目的にしています。研修会の内容については、昨年度の研修会のアンケートや県内の幼稚園，保育所等に協力いただいている「幼児教育に関する実態調査」の結果を参考に、現場の先生方のニーズに合わせたものになっています。2回目となる今年度は小学校へも参加を呼びかけ、幼保小連携等についての情報交換も行いました。

### 【概要】

開催日 平成28年8月27日（土）

会場 県庁2階 講堂

内容 (1)説明「子ども子育て支援新制度について」

宮城県保健福祉部子育て支援課

大竹幸恵子育て支援政策専門監

(2)講演「教育要領・保育指針の改定を見据えた幼児教育・幼保小連携」

講師：宮城教育大学教育学部幼児教育講座 佐藤哲也教授

(3)情報交換

138名の先生  
方に参加いた  
だきました!!



### <研修会の様子>

事例を交え、  
これからの幼  
児教育等につ  
いて分かりや  
すくお話し  
いただきました。

情報交換では、小学校、幼稚園、保育所等の先生方が入り交じってのグループに分かれ、それぞれの取組や幼保小連携について話し合いました。



情報交換（ワークショップ）

時間が足りないと  
感じるほど、中身  
の濃い50分とな  
りました。

### <アンケートから>

- ・ 子どもが成長し、学校で社会について学ぶためには、幼い頃からの経験がとても重要だと改めて感じました。子どもにとって良い経験となる事柄を探していきたいと思いました。
- ・ 「幼保小連携」という言葉を聞く度に、（やらなければ・・・）と思いながら、小学校から声がかかれば・・・と受け身でおりました。今日の講演を聞き、（こちらから小学校へ声をかけてみようかな）という思いになりました。
- ・ 最後に写真で具体的な実践活動を見ることができたので、できるところからすぐにでも行っていきたいと思いました。
- ・ 小学校の先生方との情報交換はとても良いと思いました。（幼保小の先生が）同じ講演を聞くことも同じ目線で子どもを見ていくことができそうで良いと思いました。
- ・ 小学校の就学に向けて、幼保の先生方が取り組んでいることが分かり、1年生の指導の参考になりました。
- ・ 保育士不足の解消に向けて、給料問題や待遇改善があげられていますが、それと同様に資質の向上も必要だと思っています。資質が向上し存在の意義が認められるよう、さらなる研修の充実を望みます。

講演の内容や情報交換、研修会についての様々な感想や意見をいただきました。  
研修の充実や幼保小連携の取組に活かしていきたいと思えます。（担当より）